

科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム)
第7回年次総会
(2010年10月3日～5日、京都)

発表文(仮訳)

1. 2010年10月3日から5日にかけて、STSフォーラム(特定非営利活動法人、本部:東京都千代田区、理事長:尾身幸次)は第7回年次総会を開催し、104の国・地域・国際機関からおよそ1,000名の科学者、政策立案者、財界人、オピニオン・リーダーが一堂に会した。その規模は昨年比で大幅の増加となった。来年以降、女性、若手研究者及び起業家の一層の参加を期待する。
2. 21世紀に入り地球のキャパシティが人類の活動にとって有限となり、人口増加と格差是正に対処するためには我々が自然の一部であり、自然と共生していかなければならないということを再認識させられる。持続可能性は重大な課題である。適切な国内政策の採択と地球規模の課題に対応するために国際社会の能力強化が必要である。
3. ポスト京都議定書の新しい枠組の構築について2009年のCOP15で合意されなかったことは残念である。すべての国を含む気候変動に関する効果的な国際的枠組の確立が地球温暖化に対する緩和策と適応策を可能とする。
4. 科学技術外交を推進し、資金のみならず科学技術力をさらに活用することが発展途上国のために必要であること再確認する。資金配分機関(Funding Agency)は科学分野の国際協力関連プロジェクトに対して財政支援をすべきである。以上のことに加えて、起業家が中小企業を興すことを推進することが、発展途上国におけるキャパシティ・ビルディングに大きなインパクトを与えることになる。
5. エネルギーは人間社会に不可欠であり、クリーンエネルギーの供給にはエネルギー効率の向上と多様なアプローチが必要である。原子力は、大量のエネルギーを生産でき、核物質の保障措置・安全性・安全保障及び核廃棄物管理に関する厳格な条件を前提として、持続可能性にとって極めて重要なオプションである。原子力の平和利用のため、核不拡散の断固とした措置をとることが重要である。
6. 既に世界の人口の半数以上が都市に居住しており、急速な都市化が交通、公衆衛生、その他の課題をもたらしている。科学技術の活用と都市計画により、これらの問題を解決し、より効率的で人間的な都市の建設を推進する手段を探求しなければならない。
7. 世界人口増加がもたらす食料需給問題を緩和するため、農業分野の研究開発の支援、気候変動に対し弾力性のある作物の栽培及び改善された農業経営と流通システムの実施が肝要である。遺伝子組換作物もこの課題の解決に貢献するものとして期待される。

8. 世界の保健問題が、今なお人類にとって最重要な課題の一つである。ゲノム医療や再生医療等の技術は、新しい医療システムのために十分に研究されなければならない。また、予防医療がより一層推進されるべきである。
9. 感染症に対応する新しい国際的なシステムが、民間とWHO等の公的機関との一層の国際協力の推進のために必要である。途上国の医療サービス能力は強化されなければならない。
10. 高齢化は、老人介護や社会的なセーフティーネットの提供のみならず、高齢者が生産的な市民として社会参加する状況を再考する上で特別な課題である。
11. 個人情報の安全確保・プライバシーの保護・利用への懸念に取り組むことを前提に、セマンティックなウェブやすべての人に個人用のモバイルアクセスを提供する将来のインターネットが多くの可能性を提供する。情報通信技術(ICT)のインフラストラクチャーを整備することが、教育、医療及びビジネス・チャンスにおける国内外の格差是正につながる。
12. 産学官(ならびに慈善活動機関の)連携は経済社会の活力の維持に貢献している。大学及び研究機関は理工教育とともに基礎研究及びイノベーションにつながる先進的な研究開発の成果を社会に提供することが期待される。大学は、人文科学と自然科学を結ぶハブであり、批判的思考法を促進し、学生に責任能力のある地球市民となる準備をさせる機能を有する。教育、研究に加え、スピノフを創造する地域の起業家を支えることが発展途上国の人材育成に不可欠である。
13. STS フォーラムの附属会議の地域気候変動セッションにおける世界気候変動の破壊的なインパクトへ適応できず危機にさらされている人々を支援するための知的活動のネットワークを構築するという結論を歓迎する。
14. 持続可能な生物多様性の実現に向け、本年10月に名古屋市で開催される生物多様性第10回締約国会議(COP10)における実りある議論が生物多様性の保持に向け効果的な活動を実施することになることを希望する。
15. メディアは公共政策に関する科学技術の光と影について公正かつ客観的に報道することが重要である。このため、メディアと科学者との継続的な意見交換の活性化が非常に重要である。
16. 科学技術は持続可能性と開発を同時に達成するための鍵である。次世代のために、世界の経済財政状況は厳しいが科学技術への投資を維持・強化しなければならない。

17. 人類の深刻な問題を解決するために科学技術が十分に力を発揮するには、資源やエネルギーのより一層効率的な使用を促進するために個人及び社会の行動を大きく変化させることが不可欠である。このような課題に関する広く普及している考え方を変えていくためには公教育が必要となる。

18. STS フォーラムは様々な分野における世界のリーダーのための運動に成長した。人類のより良い未来の建設に貢献するためにこの場で再会することを楽しみにしている。STSフォーラムは第8回年次総会を2011年10月2日(日)から4日(火)まで開催する。

以上。

<p>お問合せ先: NPO 法人 STS フォーラム東京本部 事務局長: 芹澤 ゆう / 広報担当: アラニヤ・ルディービーヌ Tel.03 3519-3351 / Fax 03 3519-3352 press@stsforum.org / www.stsforum.org</p>
